

平成28年度学校評価報告書

平成29年 3 月24日

北海道教育委員会教育長 様

北海道美深高等養護学校長
(あいべつ校)
山 下 秀 樹 印

次のとおり平成28年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- ① 生徒一人ひとりの教育的ニーズに基づき、キャリア発達を促すための系統的・重層的な指導を推進し、個々の進路を実現する教育課程を編成する。
- ② 社会への移行期にある生徒に対して、適切な生徒指導の充実を図る。
- ③ 研究や研修等を充実させ、教職員の資質や専門性を高め、質の高い教育活動を展開する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
教職員	・保護者対応(服務規律の遵守)、安全指導(危機管理)については96%の肯定的回答を得た。保護者や地域に信頼される学校を目指して、教職員一人一人が服務規律の遵守を強く意識するとともに、危機管理についての意識向上に向けて取り組んできた結果と捉える。 ・教育課程(個に応じた授業、授業時数)や生徒指導(適切な指導)について、否定的回答が15%を上回り、改善に向けた取り組みが急務と考える。	・キャリア発達を促す指導が十分になされていることが分かった。今後は卒業後の支援についても十分に行い、あいべつ校がよき伝統を築いていってくれることに期待している。 (学校評議員) ・昨年度の反省を十分に生かした学校経営が実践されていることが、学校評価により分かった。生徒たちの社会的自立に向けて、今後も継続した取り組みを期待する。 (学校評議員)
改善方策	・学校教育目標や教育方針、経営方針の達成に向けて、目標設定から評価に至るPDCAサイクルによって抽出された課題解決にむけて取り組む。 ・教員個々の専門性向上にむけた校内実践研究に取り組み、校外における研修会等にも計画的かつ積極的に参加し、校内への還流を行う。	
保護者	・事故防止に向けた安全対策等により、安全安心な学校生活を送るための整備ができていると評価された。また、保護者対応(適切な言葉遣いや態度等)については、92%の肯定的回答を得た。保護者の立場に立った情報提供や説明に努めた結果であると捉える。 ・進路指導に係る情報提供や、PTA活動については昨年に引き続き否定的回答が多く、より一層の改善に向けた取り組みが必要である。	
改善方策	・多くの保護者が参加でき、組織が活性化するPTA活動について事業計画を見直す。 ・進路先決定までの流れや、卒業後の生活に関するより具体的な情報をタイムリーに発信する。	
生徒	・社会人になるために必要な事柄を指導されていることが、生徒にも伝わっていると考ええる。 ・友人関係、自己有用感に関する評価が低い傾向にある。共に、対人関係の希薄さ、自己理解、他者理解に関する課題を抱えているためだと捉える。	・生徒たちは様々な可能性を秘めている。在学中にいろいろなチャンスを与え、よりところを十分に引き出すことができるような支援が継続して行われることを期待する。 (学校評議員)
改善方策	・生徒自身が、将来の生活をより具体的に見通せるような指導の充実を図る。 ・生徒会活動、部活動等、より生徒が主体的に取り組める活動や共同作業を設定し、良好な人間関係づくりに取り組む。	
公表方法	・ホームページへの掲載 ・保護者懇談会での説明	

3 添付資料
教職員アンケート、保護者アンケート、生徒アンケート